



申3号

「2026年3月ダイヤ改正及び浦和統括センター乗務ユニットの融合について」

の申し入れ

【 : 組合、 : 会社】

2月12日開催 交渉要旨その6

《大宮統括センター》

1. 今ダイヤ改正における目的と埼京線の将来展望を明らかにすること。

(回答) 列車ダイヤはお客さまのご利用状況等を勘案し設定しているところである。

● 目的は？

● 混雑緩和を図る。各駅停車から通勤快速に変更や、赤羽～池袋の湘南新宿ラインのダイヤ調整を盛り込んでいる。

● どれくらいの効果を見込んでいるのか？

● 10%の混雑緩和を見込んでいる。

2. 日勤の拘束時間を10.5時間以下、泊行路の拘束時間を21時間以下とすること。

(回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

● 拘束が長ければ疲労が蓄積されていく。安全な乗務に繋げていくための行路作成を要請する！

● どこをメイン（食事・拘束）にするのかによって変わってくる。引き続き考えていく。

3. 新勤務制度により休日増となるが、この間運転士、車掌とも休日出勤、増し乗務及び時季変更権の行使が常態化しているため、勤務割交番に必要な要員を配置すること。

(回答) 業務に必要な体制は確保していく考えである。

● 臨時を田端（統セ）に乗ってもらっているが、あるべき姿なのか？

● 本来であれば区所の中で操配すべきではあるが、一時的に他区所をお願いした。

● 常態化してはいけないと感じている！

● 9～11月の厳しい状況から回復傾向にある。

● 兼務者から『たまにしか乗らないためプレッシャーを感じている』と声が上がっている！

● 会社としてもさまざま考えていく。

● 年休時季変更の数は示せないか？

● お示ししない。

● 変形で出来ずに、明けで超勤をやらざるを得なくなってしまう！超勤でやる方がいいことなのか？

● そういった現状は把握している。基本的には時間内でやるのが理想。時間外を減らしていくことが必要と認識している。

時間外労働を減らしていくことの認識は一致するも具体性欠く！